５歳児保育指導案１

１　幼児の生活する姿と教師の願い（省略）

２　期のねらいと内容（Ⅲ期　９月～１０月）

○体を十分に動かして遊ぶ。
○グループや学級の友達と意見を出し合って遊んだり，相手の意見をよく聞こうとしたりする。
○集団の中できまりを守ることや力を合わせることの大切さに気付く。
○身近な自然に触れ，遊びに取り入れたり収穫したりすることを通して，命の大切さに気付く。
・友達とのかかわりの中で，相手の気持ちに気付き受け入れる。
・グループの友達と役割を分担したり，力を合わせたりして遊びを進める。
・いろいろな運動遊びに進んで取り組み，体を動かす楽しさを感じながら，自分なりに目的をもって遊ぼうとする。
・遊びに必要な遊具や道具を自ら用意したり，片付けたりする。
・遊びの進め方を友達と話し合い，協力したり，きまりを守ったりして遊ぶ。
・野菜の収穫や種とりをする中で，色や形，数に興味をもつ。
・身近な動植物に親しみやいたわりの気持ちをもって大切に育てたり，収穫物を味わったりして命の大切さを知る。

３　週のねらいと内容（１０月２７日～１０月３１日）

○友達と一緒に遊び方やルールを考えながら，遊びを進めていくことを楽しむ。
○園庭の草花や虫に興味をもってかかわり，友達と発見や驚きを共有したり，命を感じたりする。
・自分が気付いたことを伝えたり，友達の意見を聞き入れたりしながら遊ぶ。
・身近な自然物に興味をもち，集めて遊んだり，観察して調べたりする。

４　本日のねらい

○体を動かして遊ぶ中で，競い合ったり応援し合ったりする楽しさを味わう。
○友達と思いを出し合って遊び，協力し合う楽しさや互いのよさに気付く。

５　予想される幼児の活動と教師の指導，環境構成

時間	予想される幼児の活動	教師の指導，環境構成
8:00	○登園する。 ○登園時の活動する。	・幼児一人一人と元気よく挨拶し，心身の健康状態を把握する。 ・自分でしようとする姿を見守り，必要に応じて声を掛けていく。
8:30	○自分のしたい遊びを見つけて取り組む。	・自分のしたい遊びを友達と進めていこうとする様子を見守ったり，一緒に遊びの準備をしたりする。
	・友達や年少児を誘ったり，みんなで相談してチーム分けをしたりしてリレーごっこをする。	・ルールが共通理解されていないときには再確認し，勝った嬉しさや，負けて悔しい気持ちを十分に受け止め，その思いをもとに，さらに友達と力を合わせようという気持ちをもてるようにかかわる。
	・リズムに合わせて友達や年少児と一緒に踊ることを楽しむ。	・自分たちで曲を選んでかけることができるようにＣＤプレーヤーを準備したり，友達同士発表し合える場を設定したりしておく。
	・忍者ごっこに自分なりにめあてをもって挑戦したり，自分の力を試した	・挑戦する姿を励ましたり，できた喜びに共感したりして「もう１回やってみよう」という

	りする。	気持ちを後押ししていく。 ・自分なりのめあてをもってがんばっている姿を見守り，安全面に配慮する。
	・虫探しや虫とりを楽しみ，観察したり世話をしたりする。	・捕まえた喜びを共感し生き物への接し方や飼育の仕方を一緒に考える中で，大切に世話ができるようにかかわる。
	・草花や石鹸でクリームを作って遊び，泡の感じや色の変化，友達との違いを楽しむ。	・できあがったものを見せに来たときには，工夫したり試したりしているところを十分認め，喜びを共感する。 ・発見や驚きをともに感じ，友達にも紹介することで「こんなによい物ができた。」「作ってよかった。」という満足感がより味わえるようにする。
	・ドングリを使って製作したり，種とりをしたりして秋の自然物に触れて遊ぶ。	・自然物を使いやすいように整理して置いておくなどして，じっくり取り組めるように場を構成しておく。
	・広告紙や折り紙・空き箱で遊びに必要なものを作って遊ぶ。	・足りない材料があれば一緒に探したり，やり方を考えたりして，幼児がイメージする物を作ることができるように援助する。 ・自分の思いがうまく伝えられないときには，足りない言葉があれば補足したり，言い方を一緒に考えたりして援助する。
	・友達とそれぞれの役割に分かれてボウリングを楽しむ。（雨天時）	・ストライクがとれた喜びや思うようにピンが倒れなかった悔しさを共感しながら，友達を応援する姿や自分たちで遊びを進めていく姿を見守る。
10:00	○片付ける。 ・友達と一緒に，使ったものや気付いたところを片付ける。	・「まだ遊びたい」という気持ちに共感しながら，協力して片付ける姿やできていないところに気付いて片付ける姿を認め，みんなで一緒に明日につながる片付けができるように援助していく。
	○降園準備をする。 ○降園時の活動をする。 ・手遊びをする。 ・楽しかったことや嬉しかったことを話す。 ・次の日の予定を聞く。	・忘れ物がないか確認し，自分たちで気付いていけるように声を掛けていく。 ・幼児の話したい思いを支え，聞いてもらえる嬉しさや安心感が得られるように，聞く態度や落ち着いた雰囲気づくりに配慮する。 ・それぞれの思いを共有して「今日も楽しかった」という満足感や明日を楽しみに思う気持ちを感じられるようにする。
10:30	○降園する。	・一人一人の幼児とスキンシップを図りながら，元気に挨拶して降園できるようにする。

（評価）○：幼児　●：教師

○友達と思いを出し合い，協力し合う楽しさや互いのよさを感じながら遊びを進めていくことができたか。

○体を動かして遊び，競い合ったり応援し合ったりする楽しさを味わうことができたか。

●友達と思いを出し合い，協力し合って遊びを進めていくことができるような援助や，友達や自分のよさに気付いていけるような声掛けができたか。

●体を動かす心地よさや，友達と競い合ったり応援し合ったりする楽しさを味わえるような環境の構成ができていたか。